

令和4年度 建設業デジタル化促進モデル事業現場見学会（有限会社 実業土木）

<デジタル化促進モデル事業の実施内容>

<参加者>

導入機器：3次元設計データ作成ソフト、自動追尾型TS 17名（建設会社：4社8名、県職員：2名、市町村職員：7名）

<工事概要>

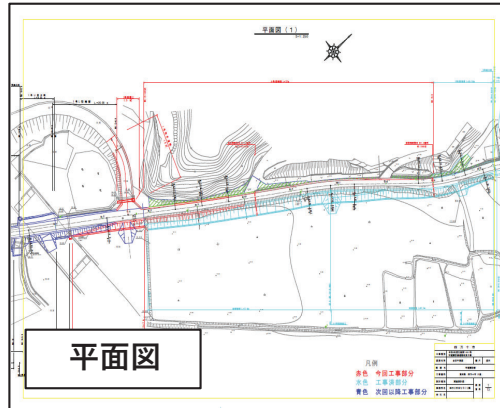
工事名：令和4年度防安1-6-1号市道諏訪線道路改良工事

請負代金：14,454,000円、工期：令和4年8月26日～令和5年1月27日

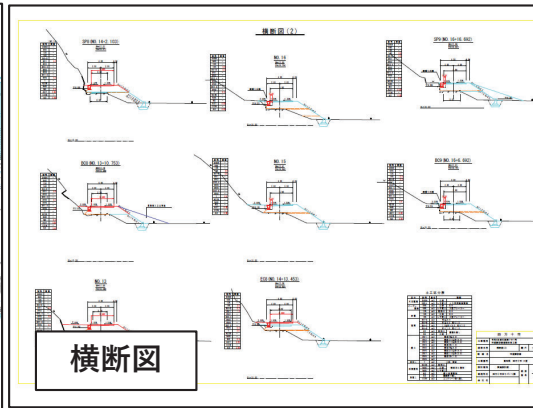
工事内容：施工延長 L=154m

路体盛土V=43m³、路床盛土A=351m³、4号U型側溝

L=127m、1号U型側溝L=30m、重力式擁壁L=35m



平面図



横断面図

施工前



完成



自動追尾型TS



測量状況

施工者のコメント

今回導入した杭ナビを使用
した結果、従来の半分の人
員ででき、作業効率が向上
した。今後は3次元デー
タを等を使用し更なる効率の
向上を目指したい。

プロセス	使用機械等	従来	ICT	効果	評価
起工測量	自動追尾型TS	2人・日	1人・日	50%	従来に比べ、各測量を少人数で行う事ができました。さらにの方法より時間を短縮する事ができました。
3次元設計データ	-	-	-	-	-
ICT施工	-	-	-	-	-
出来形管理	杭ナビ・快測ナビ（今回導入）	2人・日	1人・日	-50%	各工種の出来形測量を少人数で行う事ができました。さらに従来の方法より時間を短縮する事ができました。
合計		5人・日	4人・日	-20%	管理の負担が減った。

発注者の
コメント

杭ナビの導入により効率的な施工につながっている。次段階として、3次元設計データを活用した施工に取り組み更なる生産性向上へつなげてもらいたい。